

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月6日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都渋谷区代々木三丁目22番7号	
氏 名 ファイザー・ファーマ株式会社	
代表取締役社長 伊藤 雅彦	
電話番号 03-5309-7000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ファイザー・ファーマ株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字五号地2番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16:化学工業
② 事業の規模	製品出荷額(2023年度):非開示
③ 従業員数	798人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項															
<p>(管理体制図)</p> <table border="0"><tr><td>産業廃棄物管理責任者</td><td>環境安全衛生部長</td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>├</td><td>特別管理産業廃棄物管理責任者 環境安全衛生部 動力・環境グループ</td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>├</td><td>産業廃棄物処理施設管理者 環境安全衛生部 動力・環境グループ</td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td>├</td><td>#230汚泥脱水施設技術管理者 代表取締役社長 伊藤 雅彦</td></tr></table>		産業廃棄物管理責任者	環境安全衛生部長			├	特別管理産業廃棄物管理責任者 環境安全衛生部 動力・環境グループ			├	産業廃棄物処理施設管理者 環境安全衛生部 動力・環境グループ			├	#230汚泥脱水施設技術管理者 代表取締役社長 伊藤 雅彦
産業廃棄物管理責任者	環境安全衛生部長														
├	特別管理産業廃棄物管理責任者 環境安全衛生部 動力・環境グループ														
├	産業廃棄物処理施設管理者 環境安全衛生部 動力・環境グループ														
├	#230汚泥脱水施設技術管理者 代表取締役社長 伊藤 雅彦														
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
① 現状	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>														
	産業廃棄物の種類														
	排出量														
	別紙②のとおり														
(これまでに実施した取組) 排水処理場の運転条件を見直し、COD汚泥転換効率を低減した。															
②計画	<b>【目標】</b>														
	産業廃棄物の種類														
	排出量														
	別紙②のとおり														
(今後実施する予定の取組) 継続した工程改善によって発生する産業廃棄物の量を削減する。 精製工程での収率向上、医薬品製造工程での不良品率の改善、製品包装の簡略化、原材料の見直し、排水処理施設の汚泥転換率の改善等。															
産業廃棄物の分別に関する事項															
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくずはそれぞれに分別している。														

	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新規製造品の製造開始の度に廃棄物の最適な分別方法を検討していく。
--	-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	① 現状	【前年度（2023年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	実施していない。
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	
		(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	実施する予定はない。
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	
		(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
	① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	汚泥(余剰汚泥)		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	
		(これまでに実施した取組)			
		② 計画	【目標】		
産業廃棄物の種類			汚泥(余剰汚泥)		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量			0 t	0 t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量			0 t	0 t	

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（2023年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	実施していない。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	実施する予定はない。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（2023年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

		<p>(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を継続的に検討してきた。</p>
--	--	---

(第5面)

②計画		<b>【目標】</b>
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	<p>(今後実施する予定の取組) 機械油の処理を焼却処理から資源化に変更することを検討している。</p>	
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2024年度 産業廃棄物処理計画書 別紙 ①

産業廃棄物の一連の処理工程

産業廃棄物の種類	処理の工程
汚泥 (排水汚泥)	・自ら脱水後、中間処理業者に委託して乾燥または混練後、セメント原料として再資源化
汚泥 (その他の汚泥)	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃油 (潤滑油等)	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
廃プラスチック類 (包装材等)	・再生処理業者に委託して建設材料として再資源化 ・中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化 ・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
石綿含有廃棄物・廃プラスチック類	・中間処理業者に委託して溶融後、建設材料として再資源化
金属くず (電池類等)	・中間処理業者に委託して溶融後、建設材料として再資源化
ガラスくず (ガラス瓶等)	・中間処理業者に委託して破碎後、建設材料として再資源化
木くず (木パレット等)	・中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化
がれき類	・中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分

2024年度 産業廃棄物処理計画書 別紙 ②

廃棄物の排出の抑制に関する事項、処理の委託に関する事項

単位:t

項目			産業廃棄物の種類									
			汚泥 (余剰汚泥)	汚泥 (その他の汚泥)	廃油 (潤滑油等)	廃プラスチック類 (包装材等)	石綿含有廃棄物・廃プラスチック類	金属くず (電池類等)	ガラスくず (ガラス瓶等)	木くず (木パレット)	がれき類	合計
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	0	192.509	0.51	449.363	0.072	1.001	1.577	1.340	0.020	646.392
		②計画(目標)	0	192.000	0.50	449.000	0.070	1.000	1.500	1.300	0	645.370
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋投入処分に関する事項	処分量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	0	192.509	0.51	449.363	0.072	1.001	1.577	1.340	0.020	646.392
		②計画(目標)	0	192.000	0.50	449.000	0.070	1.000	1.500	1.300	0	645.370
	優良認定業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	192.509	0.51	169.813	0.072	1.001	0.547	0	0	364.452
		②計画(目標)	0	192.000	0.50	169.000	0.070	1.000	0.500	0	0	363.070
	再生利用業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	314.135	0	0.161	1.577	1.340	0	317.213
		②計画(目標)	0	0	0	314.000	0	0.100	1.500	1.300	0	316.900
	認定熱回収業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	3.713	0.51	10.150	0	0	0	0	0	14.373
		②計画(目標)	0	3.000	0.50	10.000	0	0	0	0	0	13.500
	認定以外の熱回収を行う業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	188.796	0	106.293	0.072	0.840	0	0	0	296.001
		②計画(目標)	0	188.000	0	106.000	0.070	0.800	0	0	0	294.870